



中央市民病院ニュース

No.82

新年のご挨拶

病院長 木原 康樹

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中、地域医療機関の皆様には大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。神戸市立医療センター中央市民病院は神戸市の基幹病院であり、その使命は「市民の生命と健康を守る」ことにあります。これを達成するために「救急医療体制の充実、高度医療の提供」に加え「新型コロナウイルス感染症への対応」に職員が一丸となって取り組んでおります。本年も更に励みますので、益々の御指導を賜りますようお願い申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症への対応に追われた1年となりました。ワクチン接種の促進等により当初に比べて重症患者は減少したものの、感染の波が到来する度に、感染者専用の臨時病棟は満床となり、通常診療を制限せざるを得ない状況が続いております。地域医療機関の皆様へは、緊急転送の受入れが十分にできないなどのご迷惑をお掛けしております。今後も、感染症対応病床を確保するため病床制限は継続することが見込まれますので、病床のより効率的な運用を徹底し、当院の高度医療を求める患者さんすべてに提供することができるよう運用体制の強化を



INDEX

新年のご挨拶	1	第19回千里メディカルラリー初優勝	6
耳鼻咽喉科 部長就任のご挨拶	3	連携登録医にご登録ください	7
大腸スクリーニング日帰り外来（CS外来）の開始	4	医師の異動のおしらせ	7
大腸スクリーニング日帰り外来 FAX 予約申込フォーム ...	5	患者さんをご紹介いただく際は	8

図って参ります。

このようなコロナ禍ではありますが、昨年10月には3年ぶりに地域連携懇話会を対面で開催することが出来ました。多くの方にご参加いただき、顔の見える連携の場となりました。ありがとうございました。

私たちの長年にわたる努力に対して幾つかの嬉しい知らせもありましたので、報告申し上げます。当院の救急救命センターでは8年連続で全国1位（厚生労働省救命救急センター評価、令和3年度）に輝きました。また、循環器内科はNew York Times 誌（2022年9月23日号）掲載のWorld's Best Specialized Hospitals 2023 in Cardiologyにおいて一昨年に引き続き世界トップ250病院にランクインしました。その他、頭頸部外科を中心としたがんに対する光免疫療法や当院3台目となる手術支援ロボットhinotoriの導入など、診療の拡充と高度化にも取り組んでまいりました。

今年は、MRIの増設やリニアックの更新等を予定しております。また、より効率的で安全な病院運営を目指し、デジタル化への取り組みを進めてまいります。

最後になりましたが、当院が今年も神戸医療圏の高度急性期病院として医療機能を発揮していくためには、地域医療機関とのより緊密な連携が不可欠であります。連携医療機関や連携登録医の皆様方に益々のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご協力のもと、地域の皆様のご要望やご期待に応えられるよう更なる努力を重ね、市民病院としての役割を果たして参ります。引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

皆様の今年一年の御繁栄を祈念申し上げます。



耳鼻咽喉科 部長就任のご挨拶

耳鼻咽喉科 山本 典生

このたび、耳鼻咽喉科部長を拝命し、2022年11月1日付で着任いたしました山本典生と申します。私は1995年に京都大学を卒業後、京都大学医学部附属病院、奈良県の天理よろづ相談所病院で耳鼻咽喉科・頭頸部外科の手術、治療の研鑽を積みました。その後大学院に進学して学位を取得後に、米国国立衛生研究所（NIH）に留学し、この間、内耳発生・再生の研究を行いました。



2008年に京都大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科に帰学後は、臨床では耳科・側頭骨外科手術の研鑽を積み、研究では新しい難聴治療法の開発を目指して、基礎研究から臨床試験まで行ってまいりました。

大学で過ごした14年間に、鼓室形成術、アブミ骨手術、人工内耳手術やそのほかの人工聴覚器手術、先天性外耳道閉鎖に対する外耳道増設および鼓室形成術などの聴覚回復と炎症制御を目的とした手術や、側頭骨腫瘍、中・後頭蓋に及ぶ真珠腫、聴神経腫瘍の摘出など、多岐にわたる耳科・側頭骨手術を手がけ、患者さんの生活の質向上に貢献してきました。当院でも、この経験を活かして、難聴や側頭骨腫瘍でお困りの患者様のニーズに答えるべく、あらゆる耳科・側頭骨疾患の手術に対応していきたいと考えております。

また、これまで内耳発生・再生研究を行うとともに、突発性難聴に対する新規薬剤の臨床試験や現在実用化されている鼓膜再生のための薬剤の医師主導治験に参画し、新規難聴治療法開発のための臨床研究にもいそしんでまいりました。中年期から継続する難聴は、介入しうる認知症の原因の中で最も寄与率の高い因子です。また、先天性難聴のお子さんは音声言語の発達に支障をきたします。難聴の克服は、患者様の生活の質向上のみならず、認知症の予防やお子さんの音声言語の発達にもつながります。手術加療や保存的加療を現時点での最高レベルで行うとともに、引き続き臨床研究も続けて当院から新規難聴治療法を世に問うことができればと思っております。

耳鼻咽喉科は難聴だけでなく、嗅覚、味覚、平衡覚、音声、嚥下、呼吸などさまざまな人間の生活の維持に必要な感覚や機能を改善したり、耳鼻咽喉におこる炎症を制御したりする非常に幅広い領域をカバーする科です。当科には、これらの幅広い疾患に対応できる専門家が数多く在籍しております。今後も、あらゆる耳鼻咽喉科疾患の治療を適切に進め、地域医療に貢献することができるよう努めてまいります。どうぞ、皆様方からご支援を賜りますようお願い申し上げます。



大腸スクリーニング日帰り外来 (CS 外来) の開始

消化器内科 猪熊 哲朗



従来、欧米人に多いとされた大腸癌は、本邦においても近年増加傾向にあります。

最近 30 年間で患者数は 3 倍に増加し、大腸癌死亡者数は年間約 5 万人で肺癌に次いで 2 位 (男性では 3 位、女性では 1 位)、罹患者数では 1 位となり年間約 15 万人が大腸癌と診断されています。死亡者数 5 万人・罹患者数 15 万人は、人口が 2.5 倍の米国とほぼ同数であり、大腸癌の死亡者数を減少させることが喫緊の課題といえます。

米国においては、大腸内視鏡検査 (Colonoscopy : CS) を含めた検診システムの普及とポリープの積極的な摘除が大腸癌の死亡率減少につながっているといわれています。検診として CS を受けることで、大腸癌死亡を大幅に減少できるとの報告があります。

そのため、当科でも大腸内視鏡検査 (CS) による大腸スクリーニングを日帰りでおこなう専門外来 (CS 外来) をスタートします。



対象は、「大腸スクリーニング希望」「便へヘモグロビン陽性」「大腸癌の家族歴」「腹部不快など軽微な症状」などで、CS による大腸検査を希望される方とします。「血便の持続」「強固な便秘・イレウス疑い」などの危険度の高い症状がある場合は、消化器外来への紹介をお願いします。また、年齢は、70 才までとさせていただきます。

予約方法は、上部消化管内視鏡検査 (EGD) と同様に、地域医療連携センターを通じて、大腸スクリーニング日帰り外来 (CS 外来) をご依頼ください。

患者さんのフロー

- 1 地域医療機関からFAX予約で (CS外来) を予約。前日の下剤 (ピコスルファート1本) を受診前日21時に内服する。(紹介元での処方をお願いします)
- 2 当日9:00に内視鏡センター受付を受診。消化器内科担当医師が問診・診察をおこない、検査同意を取得したうえで、洗腸液 (モビプレップ) 内服を開始します。
- 3 前処置完了を確認後、午後からCSを施行します。
- 4 検査結果は、後日、地域医療連携センターからレポート (病理結果を添付のうえ) を紹介元に送付します。当院でのフォローアップ方針を記載した「大腸フォローアッププラン」も同封します。



当科での大腸ポリープに対する治療方針 (原則)

- 微小な非腫瘍性ポリープ (過形成ポリープなど) ⇒経過観察。
- 2-3mm程度の腫瘍性ポリープ (腺腫) ⇒生検鉗子・コールドスネアポリペクトミー (CSP) にて摘除。
- 4-9mm程度の腫瘍性ポリープ (腺腫) ⇒CSPにて摘除。(外来)
- 10mm以上のポリープ (腺腫・粘膜内癌) ⇒EMR・ESDにて切除。(入院)
- 基本的に、腫瘍性ポリープは完全摘除をおこない、クリーン・コロンを目指します。
- ただし、抗血栓薬内服中の場合は、当日の治療はおこなわれないことがあります。



消化器内科：大腸スクリーニング日帰り外来(CS 外来)

FAX 予約用診療情報提供書

令和 年 月 日

神戸市立医療センター中央市民病院

消化器内科 担当医 先生 名称
住所 〒
医師名
電話 FAX 印

フリガナ 氏名	神戸市立医療センター中央市民病院受診歴 1 有 2 無 患者番号 ()	
生年月日	昭・平・令 年 月 日生 (歳)	
住 所	〒 電話：自宅 () - 連絡先 () -	
※保険情報	本人・家族	【保険者番号】 【記号】 【番号】 本人・家族
	公費負担等	【公費負担番号】 【公費受給者番号】 【負担割合等】
	公費負担等	【公費負担番号】 【公費受給者番号】 【負担割合等】
診 断 名		主訴
紹介目的	大腸内視鏡検査（スクリーニング） 依頼	

※保険情報は可能な限りご記入願います。(院外処方箋の FAX でも構いません)

【紹介元へのお願い事項】

- ① 検査前日に服用する下剤（ピコスルファート 1 本）は、紹介元にて処方下さい。
- ② 予約票と下部内視鏡検査説明書・検査指示書を患者さんにお渡しください。
検査指示書の食事の注意事項、検査前日 21 時の下剤服用、当日朝絶食を患者さんにご確認願います。
- ③ (服用中であればチェック) 抗血栓薬服用中の方に対しては、原則、続行の上で検査を施行します。

【診療情報】①主訴 ②家族歴 ③現病歴 ④現 症 ⑤検査所見 ⑥治療経過 ⑦現在の処方 ⑧その他

予約希望日 又は曜日	第 1 (月 日 / 曜日) 第 2 (月 日 / 曜日)
---------------	---------------------------------

備考 1. 必要に応じて、検査データを添付ください

■ 神戸市立医療センター中央市民病院 地域医療連携センター TEL 078-302-6031
FAX 078-302-2251

【中央市民病院宛】

第19回千里メディカルラリー初優勝

2022年11月5日（土）に、大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター主催の“第19回千里メディカルラリー”が、全国から21チームが参加して3年ぶりに開催されました。

メディカルラリーとは、救命救急を専門とする医師、看護師、救急救命士がチームを組み、限られた時間内にどれくらい的確に診断と治療を実施することができるのかという救命医療技術を競うコンテストです。各チームは出動命令に従って指定された場所へ出動し、模擬患者さんに対して診察し、止血・人工呼吸・薬剤投与などの必要な処置を行い、その行為をジャッジが評価・採点します。

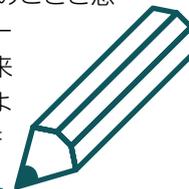
当院は第2回から参加しており、日頃の訓練の成果を発揮すべく、医師3名、看護師2名、神戸消防局の救急救命士2名の7名が救命救急センター率いる“BE KOBE”チームの代表として奮闘し、初優勝を果たしました。



チーム代表からのコメント

皆様、温かいご声援をありがとうございました!! 全国の精鋭が集う中、最高位の結果を残せたことを大変嬉しく思います。毎日練習に打ち込んでまいりましたが、優勝することが出来たのは、お忙しい中付き合っただいた神戸消防の皆様のご指導とご協力があったのことに感謝申し上げます。メディカルラリーを通し、診療技術の向上はもちろんのこと、チーム医療の重要性を再認識し、消防やその他職種とのつながりを強めることが出来ました。これからも日々の診療に活かせるように邁進してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

救急科 西田 晴香



地域連携のお知らせ

連携登録医にご登録ください

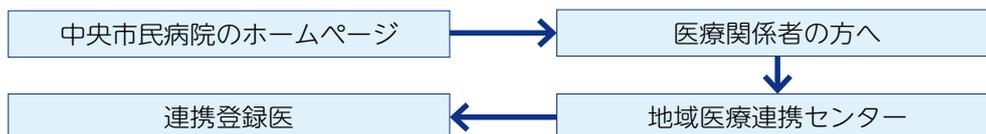
当院では、患者さんが地域で安心して継続した医療を受けられるよう、当院と連携・協力して安全で質の高い医療を提供される市内医療機関の先生方を「連携登録医」として登録する制度を設けています。

連携登録医として登録していただくと

1. 紹介患者さんに対する診療及び入院の対応を迅速に行うよう努めます
2. 紹介患者さんの診療記録を当院で閲覧できます
3. 当院の患者さんがかかりつけ医を探される場合に紹介いたします
4. 図書室など当院の施設・設備を利用できます（ご利用になれない施設・設備もあります）
5. 来院時の駐車場料金を無料にします
6. 当院が公開して行う症例検討会、研修会、講演会等に自由にご参加いただけます
7. 病院ニュースやオープンカンファレンス・講演会の開催情報などを E-mail でお送りいたします
8. 「連携登録医証」「インターネット紹介予約システムご利用 ID・パスワード」を発行いたします

新たに下記の先生方にご登録いただきました。

なお、連携登録医療機関一覧は、当院ホームページにも掲載しております。



新規連携登録医療機関

区別住所 50 音順で掲載しております。

区	連携登録医療機関	住所
東灘区	みかげ小児歯科・矯正歯科クリニック	神戸市東灘区御影郡家 1-34-9

医師の異動のお知らせ

10～11月

退職・転出			
診療科	役職	氏名	異動日
産婦人科	専攻医 3 年次	佐藤 晋平	10 月 31 日
麻酔科	専攻医 3 年次	三宅 悠介	11 月 30 日
麻酔科	専攻医 1 年次	野口 義朗	11 月 30 日
麻酔科	専攻医 3 年次	野原 静華	11 月 30 日
脳神経外科	専攻医 3 年次	榛本 悠嗣	11 月 30 日

11～12月

採用			
診療科	役職	氏名	異動日
耳鼻咽喉科	部長	山本 典生	11 月 1 日
麻酔科	専攻医 2 年次	田中 崇嗣	12 月 1 日
呼吸器内科	専攻医 2 年次	増田 佳純	12 月 1 日

患者さんをご紹介いただく際は・・・

● FAX・インターネットでご予約ください！ ●

地域の医療機関の先生方からご紹介いただく患者さんの待ち時間を短縮するため、診察・検査の紹介予約を受付しています。紹介予約の方は予約時間どおり受診できるように努めておりますので、是非ご利用ください。

FAX予約

- FAX 予約申込時、申込書に診療経過等の記載がなくても FAX 予約は可能です。診療情報はその日のうちに記入し、再送信して下さい。
- 患者さんのご都合がはっきりしない場合でも仮予約をお取りください。仮予約後、患者さんご自身で予約変更が可能です。地域医療連携センターへ電話で連絡をして頂くようお願いください。

【手順】

1. 「FAX 予約申込書」を当院地域医療連携センターへ送信して下さい。【簡易手続記載例を参照ください。】
 - 1) 「FAX 予約申込書」様式の上段赤枠のみ記載ください。（検査依頼については専用の検査様式をご使用ください）
 - 2) 後ほど予約申込日中に下段青枠に追記してから再送ください。
2. 「予約報告書（上段）兼初診予約券（下段）」を返信します。
3. 「予約報告書（上段）」は貴院で保管し、「初診予約券（下段）」及び「診療情報提供書（紹介状）」を患者さんに手渡してください。

※予約の必要と思われる診療科目を○印で指定してください。
 ※中心に設ける科で診療科目がない場合、「がんセンター」等の欄に記入してください。

令和 年 月 日
 FAX 番号

紹介先医療機関の
 所在地および名称
 氏名
 電話番号

診療科
 患者氏名
 性別 男・女
 当院受診歴 1 有 2 無

生年月日 明・大・経・平・金・西暦 年 月 日 生（歳）

住 所
 電話：（自宅） - - （勤務先） - -

保険情報
 公費医療 国民健康保険 国民年金 国民年金
 社会保険 社会保険
 自費医療 自費医療

診療名
 紹介目的 1 加療 2 検査 3 入院 4 その他（ ）

予約希望日
 第1（ 月 日 / 曜日） 第2（ 月 日 / 曜日）

予約済みで下欄追記の場合チェックを入れてください。 外来予約申込済み
 検査依頼、初診依頼、再診、再診の依頼、など

神戸市立医療センター中央市民病院 地域医療連携センター FAX078-302-2251 TEL078-302-6031

1 まず赤枠のみ記入して送信してください。

2 お手すきの際に青枠に追記して再送してください。もしくは、貴院様式の診療情報提供書を追加送信してください。

インターネット紹介予約

インターネットで診察予約申込と予約券出力が可能です。

当院ホームページ > 医療関係者の方へ > 一般外来紹介予約 > インターネット紹介予約はこちら

PET/CT 検査依頼のご案内とお願い

放射線技術部

● 当院の PET/CT 検査について

2017年11月より、地域医療機関の先生方からの PET/CT 検査依頼に対応可能となりました。

当院は、サイクロトロンを備えており、PET 薬剤 (FDG) は、院内で合成し、品質検定に合格したものを使用しています。そのため、体重により適正量の PET 薬剤を投与することが可能となり、安定した画像の提供を行っています。



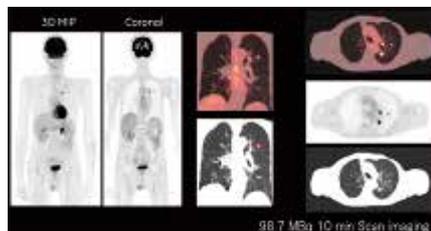
2018年3月に「5リング搭載高感度型 PET/CT 装置 (GE Healthcare 社製 Discovery IQ)」が導入され、従来の装置に比べ、低被ばくで高画質の検査が可能となりました。

また現在、検査予約待ちがほぼない状態で、患者様のご希望に添った検査予約が可能となっております。

● 地域医療機関の先生方へのお願い

FDG-PET/CT 検査は、悪性腫瘍（早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む）において保険の適用となり、検査目的は病期診断、再発・転移診断となっております。悪性腫瘍の疑いなどの良悪性鑑別、治療効果判定（悪性リンパ腫を除く）は、保険の適用外となりますのでご注意ください。

また、他の画像診断により病期診断、再発・転移診断が確定できない場合に限り、FDG-PET/CT 検査を受けられる前に、必ず CT・MRI の画像検査を施行し、画像データを持参していただきますようお願い致します。



地方独立行政法人 神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
 Kobe City Medical Center General Hospital

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-1-1

代 表 Tel : 078-302-4321 Fax : 078-302-7537
 FAX予約 Tel : 078-302-6031 Fax : 078-302-2251
 地域医療連携センター
 Tel : 078-302-4321(代) Fax : 078-302-4424

★緊急受診・転院のお問い合わせは★
 専用ダイヤル：078-302-5172

平日 9:00 ~ 17:00 地域医療連携センター
 上記以外の時間帯 救急外来受付

脳卒中ホットライン 078-302-8030	産科ホットライン 078-302-5104
胸痛ホットライン 078-302-6162	小児科ホットライン 078-302-5343
心臓血管外科ホットライン 078-302-4417	